

私は信じています。あなたはどうか。あなたは私を信じていますか。すべてを委ねていくことができますか。

朝の瞑想での思いでした。私の中のやさしい思いが肉だと思っているこの私に伝えてくれているのだと思いました。

日々何を思って生活していますか。喜びで生活をしていますか。この学びを盾にとって自分を上に置いていませんか。人には人の学び方がありません。その人なりの神に帰る道があるのです。みんな一生懸命なのです。こうしてくれたらと思う思いはもう苦しみだけなのです。ただあなたはご自分がどれだけ喜びの心で毎日を過ごせるか、それだけでいいではないですか。伝えたい思い、少しはこの学びに心を向けてほしいという思い、その思いの中にはきっとその人を責めている思いが入っているのです。そうではありません。やさしい思いはあなたが何も特別に思い煩うこともなく、あなた自身が喜んでいれば自然と伝わっていくものなのです。みんな神の子だからです。肉で何とかしようという思いは傲慢です。そのことに気付いていくために必要な時間なのかもしれません。肉があってこそ見える思い、だから肉に与えられた時間を大切にしてください。そうしていったとき、肉がなくてもそこに存在しているのだとあなたの心で実感できます。

私が肉基準の心だから、人を見下げ人を責めているにもかかわらず、みんなこの学びをしてくれたら、私がこんなに苦しまなくてもいいのにと、こんな苦しい心を使うこともないのにと、そういう思い方を何度もしてきました。相手がどうであれ苦しいのは私の心だったのに、その思いを変えていく以外にはないのに、やはり苦しみは外からくるものだと思ってきた

のでした。

死と隣り合わせなのは父だけではありません。それが現実ですよと父は伝えてくれています。父の肉を見ることにより、私は自分の生き方、死に方を間近に考えます。自分で出してきたものは自分で精算する、それが自然の流れなのだと思います。

生きることは苦しい、死ぬのも怖い、この流れの中にすっぽりとはまり込んでしまった私の心です。いつ精算するのか、いつその流れを変えていくのか、これが私のこれからの課題です。そこには誰もいない、ただ自分があるだけだと思います。

目覚めてください。そして知ってください。本当のあなたは意識であることに目覚めてください。これからの300年はそのことをあなた自身の心で分かるためにあなたがあなたに与えていく時間です。すべてが愛です。真実に目覚めるために起こり来る出来事です。心の転回を速やかにそしてそのことをあなたの心から伝えられる人になってください。私は待っています。あなたの心でずっと待ち続けています。私はあなたの中のタイケトメキチ、そして田池留吉の意識です。